

会社情報

住所：東京都新宿区天神町6番地Mビル8階

設立：2018年6月
代表取締役CEO：原 英之

事業内容

- 【コンサルティング】
- ・循環型経済へ移行のための業務変革
 - ・CO2排出量の算定
 - ・プラ新法認定取得・運用支援
 - ・マテリアルリサイクル確立 etc.

- 【システム開発】
- ・トレースシステム開発
 - ・ブロックチェーン開発
 - ・情報管理PF開発
 - ・分散型IDサービス開発 etc.

商品やサービス

テクノロジーで持続可能な世界を実装する

コンサルティング

システム提供

【事例（一部）】

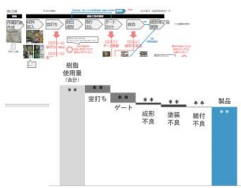
プラン/現状把握

オペレーション構築

トライアル

運用

日用品ボトルリサイクル トレースシステム開発



現状の廃棄量やCO2排出量、リサイクルコストを見える化し、マテリアルリサイクルに向けた方向性を検討



業者選定や回収、破碎、再素材化といったオペレーションの設計を実施。設備選定、取得が必要なデータの定義や仕組みの検討(IoTなど)を実施



実際にリサイクルを実施※。実運用に向けた課題の抽出を実施。ステイクホルダーに向けたPR支援も実施。
※大手リサイクル社と提携



マテリアルリサイクルを行う上で必要な業務をシステム支援(情報入力、トレーサビリティ担保、レポート作成など)

< 東京都実証事業 >
回収された日用品ボトルを破碎し再度ボトル化。回収から再製品化までのトレーサビリティを簡単に入力し、見える化するシステムの開発運用

太陽光パネルリユース・リサイクルPF開発

< 環境省実証事業 >
大量廃棄が見込まれている太陽光パネルのリユース市場を構築すべく、品質や検査情報を一元管理できるプラットフォームを開発



近年、資源枯渇・カーボンニュートラル・海洋プラスチックごみなどの社会課題に対し、循環型経済（サーキュラーエコノミー）への移行が求められています。弊社はデジタルの領域において**企業の資源循環をサポートすべく「みせる・つなぐ・まわす」をコンセプト**にサービス開発を行っています。直近では、“資源循環がデジタル化”した社会を目指し、プラスチックをはじめとした資源のトレーサビリティシステムの開発や、プラスチック新法の認定サポート事業も展開しています。

得意とするテクノロジー領域として『**ブロックチェーン・AI・IoT**』を強みとしています。